



2024年11月12日

各位

会社名 日本化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 棚橋 洋太
(コード番号 4092 東証プライム市場)
問合せ先 経理部長 熊田 雄司
(TEL 03-3636-8060)

通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当) 及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)の連結業績予想を、下記のとおり修正いたします。

また、2024年11月12日開催の取締役会において、下記のとおり2024年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を決議するとともに、2025年3月期の期末配当予想を修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	40,000	2,900	2,900	2,000	226.70
今回修正予想 (B)	40,000	3,600	3,600	2,600	294.72
増減額 (B-A)	0	700	700	600	—
増減率 (%)	0.0	24.1	24.1	30.0	—
(参考) 前期実績 (2024年3月期)	38,538	2,264	2,383	1,590	180.35

2. 業績予想修正の理由

2025年3月期第2四半期累計期間の連結業績は、液晶や半導体向け及び通信向け、並びに一般工業向け等で需要の回復傾向が見られました。その結果、売上高は概ね予定通りに推移いたしました。また、比較的収益性の高い製品の売上が好調であったことや、一部棚卸資産の評価損減少による一過性の要因等もあり、各段階利益においては期初想定から大きく上振れて推移いたしました。しかしながら、下期におきましては、自動車や通信向け、半導体向けにつきまして、期初の想定と比較し需要の回復が弱く、依然として不透明な状況が継続しております。

以上を踏まえ、2025年3月期の業績見通しにつきましては、慎重な見通しを維持し、売上高は据え置くことといたしました。なお、各段階利益は、当第2四半期累計期間における一過性要因を含む業績を踏まえ、期初想定比で増加することを想定しております。

3. 剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正

(1) 剰余金の配当(中間配当)

	決定額 (2025年3月期中間配当)	直近の配当予想 (2024年5月14日公表)	前期実績 (2024年3月期中間配当)
基準日	2024年9月30日	同左	2023年9月30日
1株当たり配当金	46円00銭	35円00銭	35円00銭
配当金総額	406百万円	—	308百万円
効力発生日	2024年12月5日	—	2023年12月5日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 配当予想の修正

	1株当たり年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	35 円 00 銭	35 円 00 銭	70 円 00 銭
今 回 修 正 予 想		46 円 00 銭	92 円 00 銭
当 期 実 績	46 円 00 銭		
前 期 実 績 (2024 年 3 月 期)	35 円 00 銭	35 円 00 銭	70 円 00 銭

4. 剰余金の配当(中間配当)及び配当予想修正の理由

当社は、株主重視の基本方針の下、安定的かつ継続して配当を行うことを経営上重要な施策の一つとして位置付けており、将来に向けての成長を目指した投資等に必要な内部留保資金を確保しつつ、配当を高める経営努力を続けております。2025年3月期におきましては、通期連結業績予想を引き上げたこと等に伴い、剰余金の配当(中間配当)を従来予想の1株当たり35円から11円増額して46円といたしました。同様に期末配当予想も従来予想の1株当たり35円から11円増額して46円とし、年間配当金は、前回予想及び前期実績から22円増配の1株当たり92円を予定しております。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上